

令和 3 年 10 月 29 日現在

2022 年度 教育学部入試実施方法について

現在のところ、2022 年度教育学部の入試については、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで、募集要項に記載の方法で実施予定です。

必ずマスクを着用して受験してください。

また、対面での試験において以下の方は受験できませんのでご了承願います。

- ・ 試験実施当日に 37.5℃以上の熱がある方。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を自覚している方。（強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ、のどが痛い、咳や痰が出る、味覚・嗅覚に異常がある等）
- ・ PCR 検査で陽性と判定された方で、厚生労働省が定める「退院に関する基準」を満たしていない方。（参考 <https://www.mhlw.go.jp/content/000745527.pdf>）
- ・ 試験実施日までに保健所等から濃厚接触者に該当するとされたが、PCR 検査を未受診の方。
- ・ 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治癒していない方。
- ・ 外国から日本に入国し、2 週間を経過していない方。

上記いずれの場合も入学検定料の返還は行いません。また一般選抜を除き、追試験等の特別措置はございません。一般選抜の追試験につきましては改めてホームページにて告知します。

また、3 密を避け、マスク着用、手洗い、うがいの励行など、感染防止に十分注意して試験に臨んでください。

試験当日は、保護者等のための控室は準備いたしません。昼食等のために食堂は使用できません。

新型コロナウイルスの感染拡大等のため、当初予定していた**対面での入試が実施できない場合**は、以下のように試験方法を変更します。

この場合は、各試験実施日の 2 週間前までに選抜方法等の詳細をホームページにて告知します。

必ず、最新情報を定期的に本学ホームページで確認してください。

対面での入試が実施できない場合の試験方法(入学者の選抜)

一般選抜前期日程

○幼児教育・教育科学・教科教育・特別支援教育の各コース

個別試験の数学・外国語・小論文は実施しません。令和4年度大学入学共通テストの成績900点に、活動報告書・志願理由書・調査書を総合して判定します。

大学入学共通テストは、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。活動報告書と志願理由書では、主として主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。活動報告書と志願理由書の評価は、合否境界上で同順位になった者に対してのみ行います。調査書は、活動報告書と志願理由書の評価の参考資料とします。

○音楽教育・美術教育の各コース

個別試験の実技は実施しません。音楽教育コースは、令和4年度大学入学共通テスト(900点)、追加提出書類の演奏録画物・実技実績調べ(計200点)の総点1,100点に、活動報告書・志願理由書・調査書を総合して判定し、美術教育コースは、令和4年度大学入学共通テスト(900点)、追加提出書類の実技実績調べ(200点)の総点1,100点に、活動報告書・志願理由書・調査書を総合して判定します。

大学入学共通テスト・演奏録画物(音楽教育コースのみ)・実技実績調べでは、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。活動報告書と志願理由書では、主として主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。活動報告書と志願理由書の評価は、合否境界上で同順位になった者に対してのみ行います。調査書は、活動報告書と志願理由書の評価の参考資料とします。

○保健体育教育コース

個別試験の実技は実施しません。令和4年度大学入学共通テスト(900点)、実技実績調べ(200点)の総点1,100点に、活動報告書・志願理由書・調査書を総合して判定します。

大学入学共通テストと実技実績調べでは、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。活動報告書と志願理由書では、主として主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。活動報告書と志願理由書の評価は、合否境界上で同順位になった者に対してのみ行います。調査書は、活動報告書と志願理由書の評価の参考資料とします。

○科学技術教育コース

個別試験の理科・科学技術に関する口頭試問を含む面接は実施しません。令和4年度大学入学共通テスト(900点の内の理科の得点200点を1.5倍して合計1,000点)、追加提出書類の活動報告書・志願理由書(各50点、計100点)の総点1,100点に、調査書を総合し

て判定します。

大学入学共通テストは、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。活動報告書と志願理由書では、主として主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。調査書は、活動報告書と志願理由書の評価の参考資料とします。

※追加提出書類の「活動報告書」は「A 意欲的に取り組んだ活動」1 件のみを記入し郵送して下さい。

参考資料を添付する場合は、活動報告書に同封して下さい。

提出期限及び提出方法は、志願者への対面での入試が実施できないことを、お知らせする際に連絡します。

学校推薦型選抜 I

○教育科学・教科教育・特別支援教育の各コース

大学入学共通テストを課さず、以下の選抜方法により行います。

講義理解力試験・問題解決型グループワーク・振り返り作文を実施せず、調査書（100 点）、追加提出書類の活動報告書（100 点）と志願理由書（100 点）の総点 300 点に、推薦書を総合して判定します。

調査書では、主に知識・技能を評価します。活動報告書と志願理由書では、主に思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。推薦書は、それらの評価の参考資料とします。

※追加提出書類の「活動報告書」は「A 意欲的に取り組んだ活動」1 件のみを記入し郵送して下さい。

参考資料を添付する場合は、活動報告書に同封して下さい。

提出期限及び提出方法は、志願者への対面での入試が実施できないことを、お知らせする際に連絡します。

○保健体育教育コース

大学入学共通テストを課さず、以下の選抜方法により行います。

講義理解力試験・問題解決型グループワーク・振り返り作文・実技を実施せず、調査書（100 点）、実技実績調べ（100 点）、追加提出書類の活動報告書（100 点）と志願理由書（100 点）の総点 400 点に、推薦書を総合して判定します。

調査書と実技実績調べでは、主に知識・技能を評価します。活動報告書と志願理由書では、主に思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲を評価します。

推薦書は、それらの評価の参考資料とします。

※追加提出書類の「活動報告書」は「A 意欲的に取り組んだ活動」1 件のみを記入し郵送して下さい。

参考資料を添付する場合は、活動報告書に同封して下さい。

提出期限及び提出方法は、志願者への対面での入試が実施できないことを、お知らせする際に連絡します。

なお、対面で実施できる場合も、コロナ禍の状況によっては、公表している内容を以下の方法に変更する場合があります。

○教育科学・教科教育・特別支援教育の各コース

大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験（100 点）、問題解決型グループワークの振り返り作文（100 点）の総点 200 点と、調査書・推薦書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークの振り返り作文では、課題に沿って筆記によるグループ活動を行った後、グループワークについての振り返り作文を課します。グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

調査書・推薦書は、問題解決型グループワークの振り返り作文の評価の資料とします。

○保健体育教育コース

大学入学共通テストを課さず、講義理解力試験（100 点）、問題解決型グループワークの振り返り作文（100 点）、実技・実技実績調べ（150 点）の総点 350 点と、調査書・推薦書を総合して判定します。

講義理解力試験では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するための作文を課します。

問題解決型グループワークの振り返り作文では、課題に沿って筆記によるグループ活動を行った後、グループワークについての振り返り作文を課します。グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

実技は、基礎的運動能力試験を実施し、実技実績調べと合わせて知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

調査書・推薦書は、問題解決型グループワークの振り返り作文の評価の資料とします。

学校推薦型選抜Ⅱ

○幼児教育・教育科学・教科教育・特別支援教育の各コース

小論文・集団討論を実施せず，令和４年度大学入学共通テストの成績（90点），追加提出書類の活動報告書（30点）と志願理由書（30点）の総点150点に，調査書・推薦書を総合して判定します。

大学入学共通テストでは，知識・技能，思考力・判断力・表現力を評価します。活動報告書と志願理由書では，主に主体性・多様性・協働性，関心・意欲を評価します。調査書・推薦書は，活動報告書と志願理由書の評価の参考資料とします。

※追加提出書類の「活動報告書」は「A 意欲的に取り組んだ活動」1件のみを記入し郵送して下さい。

参考資料を添付する場合は，活動報告書に同封して下さい。

提出期限及び提出方法は，志願者への対面での入試が実施できないことを，お知らせする際に連絡します。

「入学者選抜方法と評価する能力」について

対面での入試が実施できない場合の「入学者選抜方法と評価する能力」を以下のとおり示します。

幼児教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	活動報告書・志願理由書			◎	◎

教育科学・教科教育・特別支援教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	活動報告書・志願理由書			○	○

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
個別試験等	調査書	◎			
	活動報告書・志願理由書		◎	◎	◎

※学校推薦型選抜Ⅰで実施方法を変更して対面で行う場合

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
個別試験等	講義理解力試験	◎	◎		
	問題解決型グループワークの振り返り作文		◎	○	○

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	活動報告書・志願理由書			◎	◎

音楽教育コース・美術教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	追加提出書類	◎	◎		
	活動報告書・志願理由書			○	○

保健体育教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	実技実績調べ	◎			
	活動報告書・志願理由書		◎	◎	◎

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
個別試験等	調査書	◎			
	実技実績調べ	◎			
	活動報告書・志願理由書		◎	◎	◎

※学校推薦型選抜Ⅰで実施方法を変更して対面で行う場合

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
個別試験等	講義理解力試験	◎	◎		
	実技・実技実績調べ	◎	◎		
	問題解決型グループワークの振り返り作文		◎	○	○

科学技術教育コース

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	活動報告書・ 志願理由書			◎	◎

実技実績調べ（音楽教育コース）

氏 名					
コンクール・演奏会名		年度	主 催 者 (開 催 地)	演 奏 曲 目 (作曲者 / 編曲者)	成績等
1			()		
2			()		
3			()		
4			()		
5			()		
6			()		
補 足 説 明					
上記内容について、相違ありません。 受験者氏名（自署）_____					

【注意事項】

- 多数ある場合は主要 6 項目を記入してください（項目の数は可否判定に影響しません）。
- 独奏・合奏・アンサンブル等の形態は問いません。

※「演奏録画物」の作成・提出方法（教育学部学校教育教員養成課程音楽教育コース）

前期日程

提出された書類、録画物は返却しません。

1. 「演奏録画物」について

（1）演奏曲目

演奏曲目は、出願時に提出している試験項目・楽器名で、特技試験で演奏予定であった曲目を中断せず通して演奏してください。ただし、長休止は適宜縮めてください。
なお、基礎試験は行いません。

以下の（A）、（B）、（C）の中から1つを選択してください。

（A）ピアノ

任意の独奏曲（ただし、ソナタ等の場合は緩徐楽章を除く）を暗譜で演奏してください（反復は省略）。

（B）声楽

任意の歌曲又は、アリア（オペラもしくは宗教曲）を1曲、歌唱してください。

伴奏つきの楽曲を演奏する者は、伴奏者を各自で準備してください。伴奏者がいない場合については、伴奏者なしでもかまいません。

（C）管・弦・打楽器

任意の独奏曲を伴奏なしで演奏してください（反復は省略）。

※ 選択した（A）（B）（C）はあくまでも受験のための措置であり、入学後の専門領域を決定するものではありません。

（2）撮影方法

必ず志願者以外の第三者が立ち会いの上、録画を行ってください。

（別紙「演奏内容証明書」を参照のこと）

録画の最初に本人確認を行います。

正面肩より上がしっかりと映り、顔が明確に確認できる状態で、受験番号、氏名、演奏曲目（作曲家名含む）をはっきりと言ってください。

その後、録画を切らずに以下の位置に移動し、演奏してください。

●ピアノ

顔の右側が分かる角度から、足元（ペダル）を含む全身を撮影できる位置。

●声楽

正面から全身を撮影できる位置。

●管・弦・打楽器

正面から全身を撮影できる位置。

【撮影時の注意事項】

- 本人確認から演奏終了まで、映像・音ともにカットや編集をしないこと（曲間をカットすることは編集に該当します）。
- 画質・音質については、視聴に耐えかねるほどの著しく悪い場合を除き、合否判定に影響しません。
- 撮影機材については、ビデオカメラ、スマートフォンなどの指定はしませんが、動画の画面比は必ず横長（比率は問わない）で撮影してください。
- 録音のみの場合は無効です。

(3) 録画物の保存形式

録画物は以下どちらかの形式とします。

① DVD-Video 形式の場合 (DVD)

必ずファイナライズを行い，家庭用 DVD プレイヤーで再生確認を行ってください。

② 拡張子が mpg, mp4, mov, wmv, avi いずれかの場合

USB メモリスティックもしくは SD カードに保存し，必ず PC で再生確認を行ってください。

※ 上記以外の形式は受け付けません。

2. 演奏内容証明書

「演奏内容証明書」を作成の上，必ず同封してください。様式は，本学HPの受験生サイト
>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし，A4 サイズで印刷してください。
《<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/admissions>》
印刷できない場合は，学務部入試課にご連絡ください。《電話 088-844-8153》

3. 提出方法・提出期限等

提出方法・提出期限等は，志願者には出願受付後に出願時に登録したアドレスへメールによりお知らせします。

演奏内容証明書

志願者氏名_____

「演奏録画物」の演奏者は志願者本人であり、演奏内容についてカット、編集等を行っていないことを証明します。

令和 年 月 日

証明者住所_____

証明者氏名_____ ㊞

【注意事項】

- 必ず志願者以外の第三者が立ち会いの上、録画を行ってください。志願者氏名、証明日、証明者住所及び証明者氏名を記載し、押印してください。
なお、やむを得ない場合は、保護者等による証明でも構いません。
- この証明書は、演奏録画物と一緒に必ず提出してください。

（注）受験番号欄は記入しないでください。

実 技 実 績 調 べ

No. _____

氏 名				性別	男 ・ 女 （○で囲む）
実 技 の 実 績	展覧会・コンクール名	年度	主催者 （開催場所）	入賞・入選等の種別	
	作品の題目「 _____ 」				
	の り づ け ※この欄に作品の写真等を貼り付けてください。 ※作品の写真等はカラーであることが望ましいですが、写真技術やプリントなどの品質は、評価には影響しません。 ※貼り付ける写真等の裏面に「受験番号」「氏名」を記入してください。				
上記作品は、本人が制作したものであることに相違ありません。 年 月 日 受験者氏名（自署）_____					

（注）・実技の実績が複数ある場合は、実績1件ごとに本書類を作成し、No.の欄に通し番号を記入すること。ただし、実績の件数は6件以内とします。

- ・実技の実績を証明するもの（賞状、パンフレット、出品目録等いずれかの写し）を添付すること。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響で実技試験が実施できない場合、この実技実績調べを評価の対象（活動報告書・志願理由書と併せて評価）にします。

学 校 推 薦 型 選 拔
教 育 学 部 用

受験番号	※
------	---

(注) 受験番号欄は記入しないでください。

西曆 年 月 日

志願理由書

志願者氏名		学校名	
-------	--	-----	--

(注)本人が記入すること。(黒のインク又はボールペンを使用)

本学部を志願した理由と、将来どのような教師・保育士を目指すのかについて述べてください。

[illegible]

氏名		学校名		受験番号	
----	--	-----	--	------	--

活動報告書（意欲的に取り組んだ活動）

中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動について記載します。学校での活動であれば、部活動、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。留学、就業経験、家事・家業、ボランティア活動、習い事や趣味に関する活動などのように、学校外で行った活動でも構いません。

① どのような活動を簡潔に記入してください。(100字以内)

[illegible]

② この活動を行った期間はどのくらいですか。該当する期間に○で囲んでください。

【選択：2年以上，1年以上2年未満，6ヵ月以上1年未満，3ヵ月以上6ヵ月未満，3ヵ月未満】

③ あなたが行った活動について説明してください。例えば、あなたの努力や成果について述べてください。

グループでの活動ならあなたの役割や貢献についても記入してください。（300字以内）

[illegible]

④この活動についての参考資料を添付しますか。はい、いいえのどちらかに○で囲んでください。

【選択：はい、いいえ】 「はい」の場合、何を添付しますか。以下の枠に記入してください。

--

【注意事項】

- 1 活動の説明として、300字まで記入できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
- 2 「意欲的に取り組んだ活動」の提出は1件のみとしてください。
- 3 次の要領で参考資料を添えることができます。
 - (1) 参考資料は記入した情報を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
 - (2) 参考資料の添付は任意です。
 - (3) 参考資料はこの「活動報告書」に同封してください。
 - (4) 参考資料は原本でもコピーでも構いません。ただし、返還は行いません。
 - (5) 原則、参考資料は紙媒体で提出してください。大きさはA4(片面)とします。A3(片面)の場合は二つ折としてください。
枚数や点数の制限はありません。
 - (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。